

茨城県ひたちなか市にコンテナホテル 「HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光」が2025年1月26日(日)開業！ ～ひたちなか市で3店舗目となる「フェーズフリー」ホテルが新オープン！～

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役:岡村 健史、以下「デベロップ」)は、茨城県ひたちなか市にコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光」を2025年1月26日(日)に開業します。当ホテルの開業により「ホテル アールナイン ザ ヤード」シリーズは95店舗、「R9 HOTELS GROUP」としては106店舗となります。



HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光 外観

【HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光 施設情報】

施設名:	HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光 (ホテル アールナイン ザ ヤード ヒタチナカシンコウ)
施設場所:	茨城県ひたちなか市新光町87
オープン日:	2025年1月26日(日)
予約受付開始日:	2025年1月17日(金)15:00
アクセス:	【お車】常陸那珂有料道路「ひたちなかIC」より車で約5分、常磐自動車道「日立南太田IC」より車で約25分 【電車】JR常磐線/ひたちなか海浜鉄道湊線「勝田駅」、鹿島臨海鉄道 大洗鹿島線「大洗駅」よりタクシーで約15分
駐車場:	普通車/軽自動車43台(無料)
敷地面積:	2,687㎡(812坪)
客室数:	43室
客室構成:	ダブルルーム37室/ツインルーム6室
<ダブルルーム>	定員:2名 広さ:13㎡ 1名 6,200円/泊～ 2名 8,700円/泊～
<ツインルーム>	定員:2名 広さ:13㎡ 1名 6,200円/泊～ 2名 9,700円/泊～
ホームページ:	https://hotel-r9.jp/hotels/hitachinakashinko/

【ホテル概要】

ひたちなか市内で3店舗目の出店となる「HOTEL R9 The Yard ひたちなか新光」は、工業エリアや観光・ショッピングスポットが集積する東部地域、常陸那珂有料道路「ひたちなかIC」から車で約5分の国道245号沿いに所在します。

「常陸那珂工業団地」より車で5分、徒歩圏内には工場群が点在しており、出張などビジネス利用に最適です。また、「国営ひたち海浜公園」や「阿字ヶ浦海水浴場」といった市内の人気スポットに加え、水族館やテーマパークがある大洗町へのアクセスも良好なため、休日には観光やレジャーの宿泊拠点としてもご利用いただけます。

当ホテルシリーズは、有事の際には「レスキューホテル」として仮施設等の役割を担います。ひたちなか市とは2021年9月27日(月)に災害協定を締結しており、引き続き同市と連携を図りながら、地域のにぎわいづくりに寄与するホテルとなることを目指します。

【災害時には避難所等になるフェーズフリーのホテルで備えない防災を】

デベロップが運営する「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズは、斬新な外観と上質な空間を持ち合わせたコンテナホテルです。建築用コンテナモジュールを利用した独立客室は、隣室と壁を接しないため静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、全国95店舗3,463室(ひたちなか新光店をはじめ開業準備中の店舗を含む)を展開しています。また、有事の際には客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、災害に強い社会をつくり、未来の命や暮らしを守ることを目指します。尚「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>
レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

【東日本大震災の経験をもとに実現。レスキューホテル誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫の寄贈や復興従事者用の仮設宿泊施設の建設などの為、震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという思いで誕生したものがレスキューホテルです。

動くホテルの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月に、動くホテルの1例目として、「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを皮切りに本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

【レスキューホテル出動実績】

2020年4月に長崎クルーズ船内における新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてレスキューホテル初の有事出動を行いました。その後、東京都三鷹市および東京都千代田区、都内民間病院へPCR検査体制強化のために出動。空調を完備した客室は、季節や天候等に関係なく診療活動を行うことができ、医療従事者の負担軽減のために利用されました。

2021年12月に栃木県へ新型コロナウイルス第6波およびオミクロン株の感染拡大対応のために臨時医療施設として126室を出動。さらに2月より、千葉県と東京都の臨時医療施設の付帯施設として計21室が利用されました。レスキューホテルは、1台1客室の独立した客室構造により、宿泊施設としてだけでなく診察室やナースステーション等にも活用可能なことから、自治体や民間の病院の有事インフラとして地域医療に貢献する機会が増えています。

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しています。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しています。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名: 株式会社デベロップ
代表者: 代表取締役 岡村健史
所在地: 千葉県市川市市川一丁目4番10号
設立: 2007年2月
事業内容: 建築・不動産事業、エネルギー事業、ホテル事業、施設管理事業、資産運用代行業業
ホームページ: <https://develop-group.jp>



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】株式会社デベロップ 広報担当
047-712-5112 Email: pr@dvlp.jp